

第29回ITER 機構職員募集説明会でのQ&A

1. 日時・場所

平成21年9月13日-16日

(日本機械学会2009年次大会 展示会場)

2. 来訪者:12名

3. 説明概要:

日本機械学会2009年次大会(於盛岡市)のITER展示エリアにおいて、ITER機構職員募集および登録の案内を行うとともに、学会参加者に資料を配布し、模擬面接ビデオを紹介した。(角館 聡 トカマク本体GL、杉本 誠 ITER 協力調整GL、森田 久夫 研究開発推進室副主査、佐藤 悠 研究開発推進室員)。

4. 主なQ&A

Q1:核融合の専門家ではありませんが、ITER機構職員に応募できますか？

ITER機構は、必ずしも核融合の専門家だけを公募しているわけではありません。広く原子力工学、電気工学、機械工学等の専門家や事務系の職員も公募します。必要な職務経験は、公募時にITER機構が公開するJob Descriptionという書類に記載されています。Job Descriptionに記載された要件とご自身の経歴に照らし合わせて、関連するポジション、可能性のありそうなポジションに積極的に応募していただけることを願っております。尚公募情報は、原子力機構あるいはITER機構のホームページをご覧ください。

原子力機構HP:http://www.naka.jaea.go.jp/ITER/recruit/boshu_midashi1.html

ITER機構HP:<http://www.iter.org/Pages/jobs.aspx>

Q2:何人位の日本人がITER機構で働いているのでしょうか？

9月4日現在、機構長を始めとして、総勢23名の日本人の方々が、ITER機構で専門職員として働いています。ITER機構への日本人派遣状況は、以下の原子力機構HPをご覧ください。

<http://www.naka.jaea.go.jp/ITER/jada/index4.html>



日本機械学会 2009 年次大会 (於盛岡市) の ITER 展示エリアの様子